

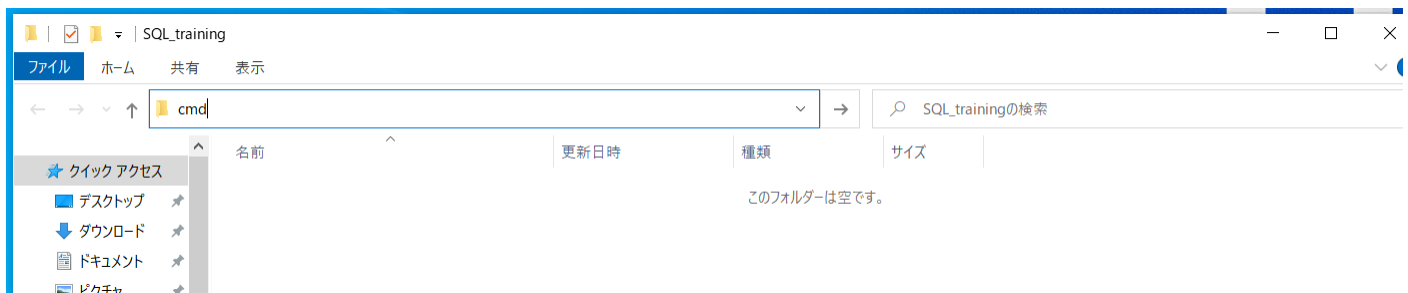
# 授業での SQL 実行方法

## 【使うもの】

- ・ MySQL モニター  
コマンドラインで MySQL を操作することができるツール
- ・ コマンドプロンプト  
windowsPC をコマンドで操作することができるツール  
授業ではコマンドプロンプトを使って MySQL モニターを起動

## 【SQL の実行方法】

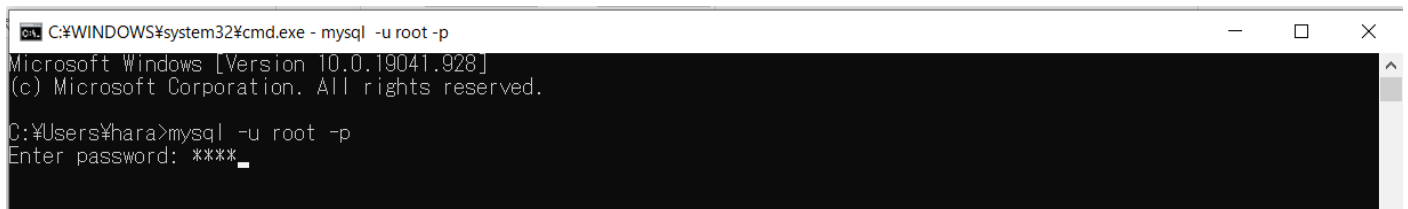
1. SQL ファイルを保存しているフォルダを開く
2. エクスプローラのアドレスバーに「cmd」と入力してコマンドプロンプトを起動



3. MySQL の起動

「mysql -u root -p」と入力

mysql → MySQL モニターを起動    -u root → ユーザは root    -p → パスワードはこの後入力  
パスワードを聞かれるので「root」と入力



「use workbook」と入力し、使用するデータベース workbook を選択



4. SQL の実行

作成した SQL ファイルを source コマンドを利用して実行    「source ○○.sql」



※ファイルが見つからない    というようなエラーが出たときはコマンドプロンプト起動時のフォルダが間違っていないか確認する

4. MySQL モニターだけを終了するときは

「exit」と入力    コマンドプロンプトごと終了するときはウィンドウの×ボタンで OK

# SQL のルール・コツ

◆「～.sql」の拡張子でファイルを作成する

◆1つのSQL文の最後には「;」セミコロンをつける

「;」で区切れば1つのファイル中にいくつもSQL文を書くことができる

◆SQLではキーワード（予約語）の大文字と小文字は区別されない

たとえばSELECT命令は「SELECT～」 「select～」のどちらでもよい

大文字、小文字どちらで書くかは好みの分かれるところ

※ただしすべて大文字、すべて小文字は見づらいのでおすすめしません

教科書ではキーワードが大文字、テーブル名や列名を小文字にしている←おすすめ

◆定数の書き方に決まりがある

SQL文上の

文字列や日付の定数 → 「」シングルクォーテーションで囲む (例) 'おにぎり' '2021-04-26'

数値定数 → 囲まない (例) 100

◆キーワードやテーブル名、列名など 単語はスペースか改行で区切る

○ CREATE TABLE shohin

× CREATETABLE shohin

× CREATE TABLEshohin

---

○改行やカンマ「,」カンマの位置などかなり自由に書くことができるため、  
自分でいろいろ工夫してやってみてください。

授業中、教科書の書き方と講師の書き方がことなることをご了承ください。

どちらを真似てもらっても構いませんし、自分なりの書き方でも大丈夫です。

○SQLの記述順・内部の実行順（ザックリ）

《句の記述順》

1. SELECT → 2. FROM → 3. WHERE → 4. GROUP BY → 5. HAVING  
→ 6. ORDER BY

《内部的な実行順序》

1. FROM → 2. WHERE → 3. GROUP BY → 4. HAVING → 5. SELECT  
→ 6. ORDER BY

○SQLのコメントは

「-- (ハイフン2つと半角スペース)」 「/\* \*/」 「#」

○DBMS (MySQL、PostgreSQL…) 独自の機能などもありますが、ある程度SQLの書き方は同じです (標準SQL)